



北海道中標津支援学校 学校だより

令和6年度第4号 2024年12月25日発行

〒086-1053 北海道標津郡中標津町東13条北7丁目15番地2

TEL(0153)72-6700 FAX(0153)72-6701

HPアドレス <http://www.n-koyo.hokkaido-c.ed.jp/>



2学期終了に寄せて

校長 渡辺 裕人

昨年よりも少し涼しかったとはいえ、今年も夏休み明けから残暑が続きました。しかし、対策が進み、教室には簡易クーラーが設置されたことで、これまでのように逃げ場のない暑さや湿度に悩まされることは少なかったのではないかと思います。また、来年度には長期間をかけて本格的な冷房エアコンの設置が予定されており、稼働までには少しお時間をいただきますが、学校の生活環境がさらに改善されることを大変嬉しく思っております。

小中学部の「NS祭」そして高等部の「NS祭」では、児童・生徒たちが悩み、緊張しながらも、全力で楽しみ、大いに盛り上がることができました。特に高等部では、テーマ「才能を爆発させろ!」を体現するように、それぞれの生徒が自分の得意分野を活かしながら協力し合い、素晴らしい作品や発表を作り上げました。この経験で得た自信を次のステップにつなげてほしいという願いを込め、閉会式で生徒たちにお話したところです。

多くの保護者の皆さまをはじめ、地域や関係機関の皆さまにもご来場いただき、深く感謝申し上げます。

様々な出来事があった2学期でしたが、皆さまのご理解とご協力のおかげで、無事に2学期を終えることができました。改めて心よりお礼申し上げます。今後も引き続き、児童・生徒にとって安心して安全な学校づくりに尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

小学部より

小学部主事 内田 佑介

11月1日(金)に小中学部NS祭がありました。低学年と高学年の2つのグループに分かれ、体力づくりや音楽の学習で身に付けたことを発表しました。低学年は、お祭り忍者に扮し、ダンスや長縄、和太鼓の演奏を行いました。保護者や地域の方が見守る中、緊張感がありながらも、自信をもって元気に発表することができました。高学年は、和太鼓の演奏やバランスボールを使った体操、ソーラン節にまつわる演劇や踊りを行いました。友達と息を合わせたり、役割を分担したりしながら、それぞれの頑張りを披露することができました。別教室では作品展示も行いました。児童の皆さんが、保護者や地域の方から称賛を受け、嬉しそうにする姿が見られました。3学期は、1年間のまとめと次年度に向けての準備の学期となります。児童の皆さんが、今年度を振り返り、来年度に向けた目標をもてるような活動を充実させていきたいと思っております。



1月～3月 行事予定

1月

15日(水) 始業式
30日(木) 全校午前授業
31日(金) 高等部入学者
選考検査
全学部休業日

2月

6日(木) 高等部休業日
14日(金) 親子レク
(小学部)
17日(月) 高等部入学選考
検査合格発表
25日(火) 高等部休業日

3月

7日(金) 高等部卒業証書
授与式
14日(金) 小学部・中学部
卒業証書授与式
24日(月) 修了式・離任式

中学部より

中学部主事 下 澤 香菜恵

11月に行った NS 祭では、「ザ・中学部 Show」として普段の学習で取り組んでいる国語・数学や、体育の内容から空手などを披露することができました。最後は Bling-Bang-Bang-Born のダンスを、リズムに乗って元気に発表することができました。当日は、体調不良等で参加することがかなわなかった生徒もいましたが、練習期間も含め一人一人が一生懸命に取り組んだ NS 祭となりました。

2学期は運動会や NS 祭に加え、中学部は職場見学や NSG フェスティバル、チャレンジウィーク（作業学習週間）などにも取り組みました。NSG フェスティバルでは、作業学習で作成したコースターを地域の方へ配布したり、チャレンジウィークでは、1日通しての作業学習に1週間挑戦したりと、普段の学習とは一味違う机上では学べない経験を積むことができました。



高等部より

高等部主事 今 野 瑞 樹

各学年の現場実習も無事に終わり、高等部の78名の生徒も一回り成長した様子で学校生活を送っています。11月には、NS 祭、NSG フェスティバルがありました。一日目の NS 祭では、動画やステージ発表を行い、前半は HR 動画の発表、後半は有志発表となりました。HR 動画発表はどの HR も工夫が凝らされ、それぞれの個性が生かされた楽しい動画となっていました。有志発表では、休み時間や放課後、寄宿舎で練習した歌や出し物を発表し、高等部の生徒たちは大変盛り上がる様子がありました。校長、PTA 役員の方々などの審査により、今年度の「ナカデミー賞」は、木工科2年の発表となり、2年連続2年生が受賞となっています。NSG フェスティバルについては、地域の方々、保護者の皆様を合わせて300名以上の来校者があり、高等部の生徒たちにとって、大変良い経験となる行事となりました。大きな行事がほぼ終わり、3学期の卒業・進級に向けて、充実した冬休みや3学期を過ごすことができるよう御家庭におかれましては御理解と御協力をお願いいたします。



寄宿舎より

夏休みが明けた2学期の寄宿舎は、児童生徒が心から楽しんだ行事がたくさんありました。

まず、小中学部の児童生徒たちは、8～9月の暑い日が続く中、水遊びを楽しみました。初めは遠慮がちに水鉄砲やじょうろなどで水を掛け合っていましたが、最後には自分たちは勿論、指導員にも容赦なく水をかけ、大人も子供も髪の毛からしずくを光らせて、笑顔いっぱい夏を楽しんでいました。

一方高等部の生徒たちは、11月、「オータムダークナイトパーティー～化け物の集い～」を楽しみました。指導員と自治会の中央執行委員が中心になって、初めて企画した“ハロパ”は、恐竜やチャイナドレス、メイドなど生徒や指導員が思い思いの仮装を披露。小中学部の児童生徒も加わり、ミステリーボックスやミラゲームなどのゲームを楽しみました。その中心となった自治会もまもなく役員改選。寄宿舎も世代交代の時期を迎えます。